

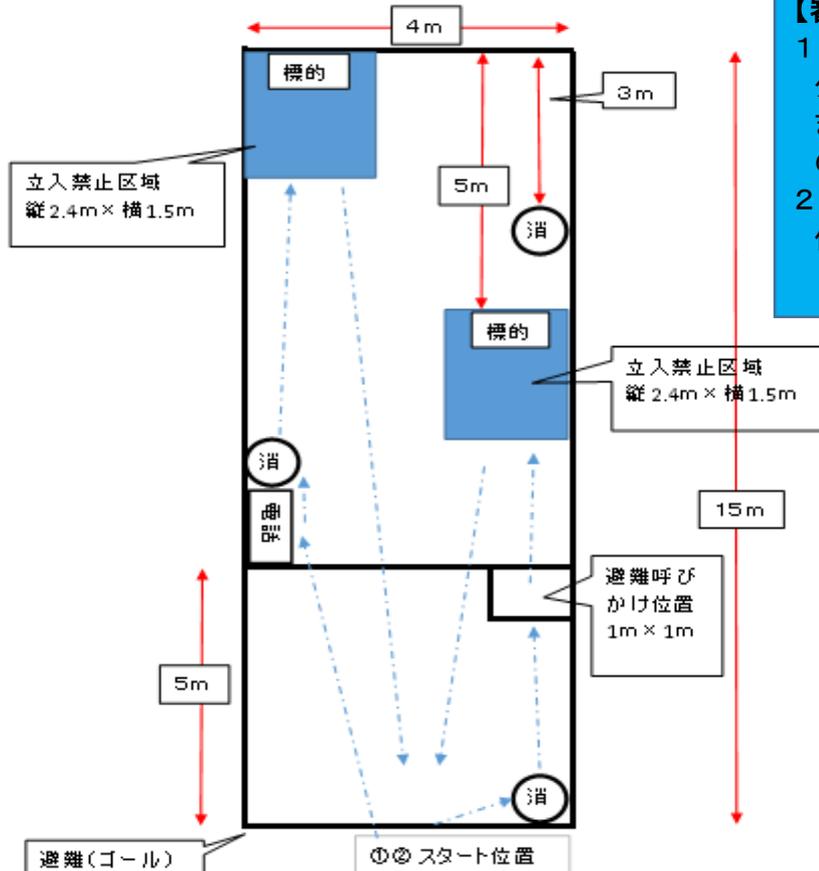
## 消火器競技実施要領（1チーム2名）

### 【想定】

住宅用火災警報器の鳴動音に気付いた住人が、周囲に火災発生を知らせるとともに、119番通報・消火作業・避難を実施する。

また、住宅用火災警報器の鳴動音と住人の「火事だ！火事だ！」の声に気付いた通行人が駆け付け、消火作業と避難を手伝う。

### 【図解】



### 【審査】

- 1 競技は、消火タイムとスタートしてからゴールするまでの減点(加算タイム)との合計タイムにより審査する。
- 2 合計タイムの速い順に順位を決定する。



立入禁止区域  
有孔ラバーマット  
8枚使用(2×4枚)



有孔ラバーマット  
縦60cm×横80cm×高さ22cm

立入禁止区域として、  
ゴム製マットを使用し

### 【統一事項】

※水消火器の搬送は、1人1本ずつとする。

※標的(2個)は、競技者それぞれ又は協力して消火すること。

また消火できなかった場合は、スタート位置への避難を優先させること。

※水消火器は標的の前方からのみ放射しなければならない。

### ※実際の火事時には・・・

屋内の場合 → 背中に避難口を確保してから、消火器を操作する。

屋外の場合 → 風上又は風横から、消火器を操作する。

- 1 チームは、所定の位置にある水消火器3本以内を使用し競技する。
- 2 スタート位置に集合する。（①住人役 ②通行人役）



- 3 操作開始は、住宅用火災警報器の鳴動音を合図とする。

競技開始の合図は、スターター(本部テント席)による**住宅用火災警報器の鳴動音をマイク拡声**します。

#### 4 操作要領

- (1) ①住人は、住宅用火災警報器の鳴動合図により、任意の位置で「火事だ！火事だ！」と周囲に火災の発生を知らせてから、電話で119番通報し、審査員の「よし」の合図（声及び赤旗を上げる。以下同じ。）で、所定の位置にある水消火器を操作し、審査員の「よし」の合図があるまで標的に放射する。その後、スタート位置に避難（ゴール）し待機する。

ア 通報要領は119番をダイヤルし、「〇〇市（町）〇〇丁目〇番〇号（事業所名または住宅名）の〇〇が火事です。避難中です。」と通報し受話器を置く。

審査員は、ダイヤル及び通報内容が適切と判断した場合は、「よし」と呼称し赤旗を上げる。（ダイヤルや通報が適切でない場合は修正を指示し、再度通報させる。）

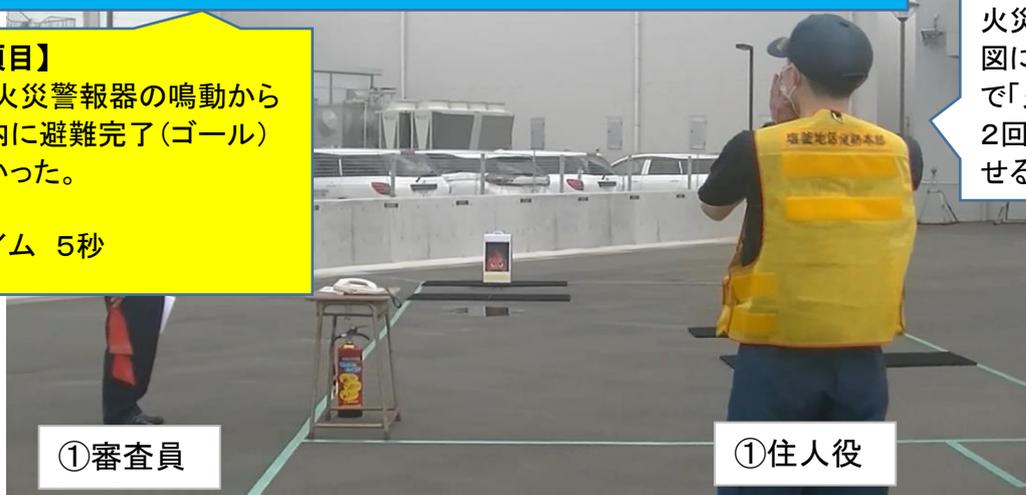
#### 【避難タイム計測区間】

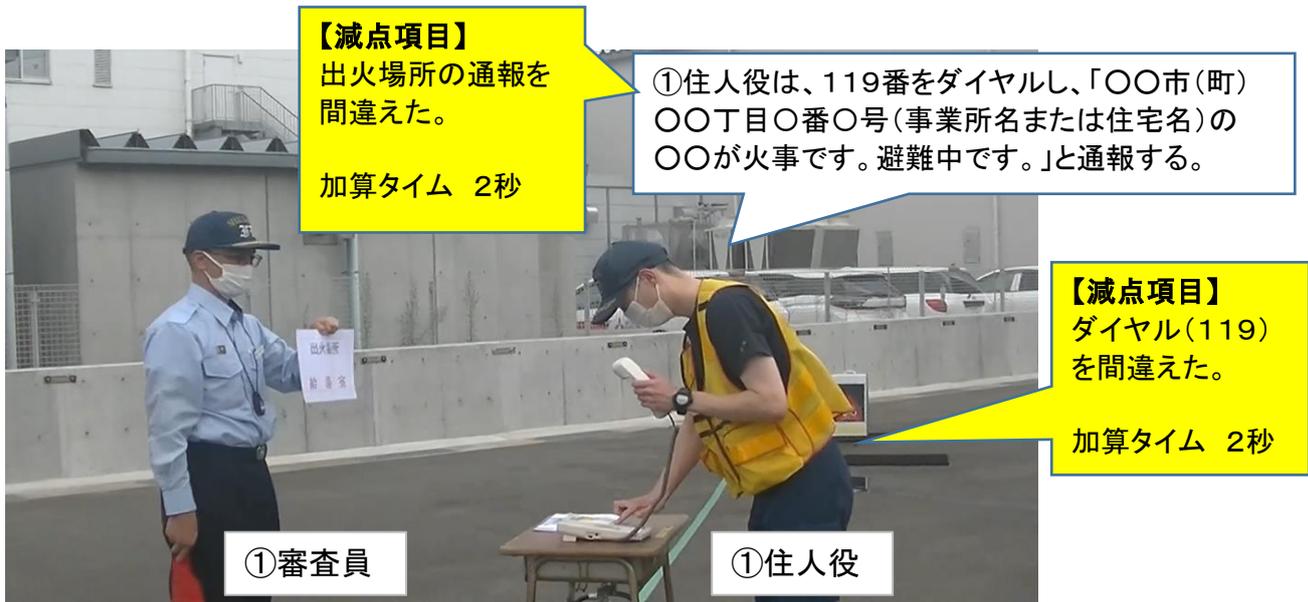
#### 【減点項目】

住宅用火災警報器の鳴動から3分以内に避難完了（ゴール）できなかった。

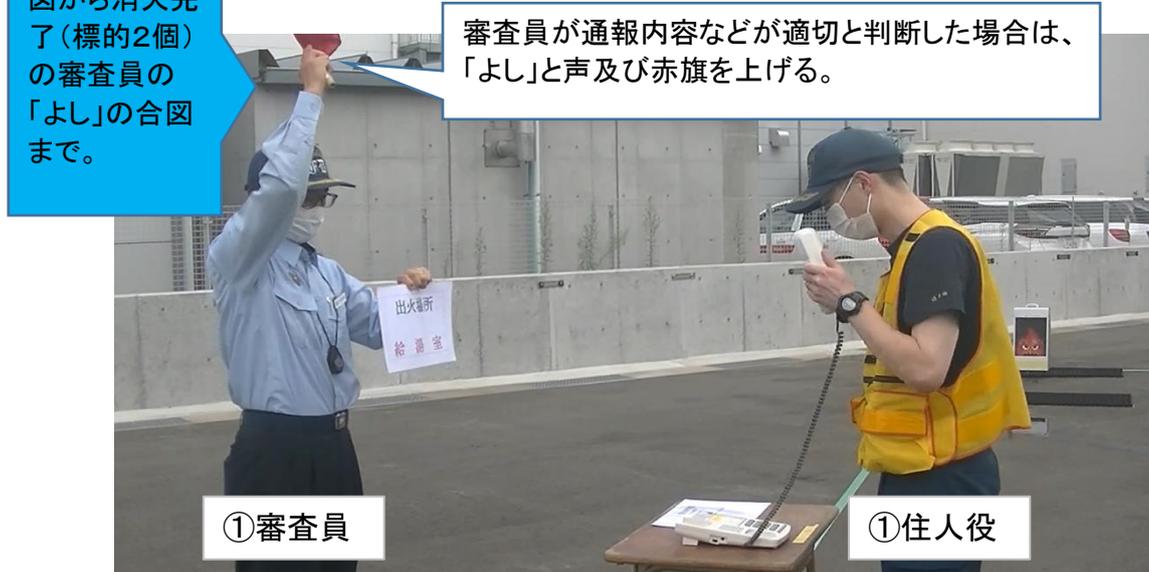
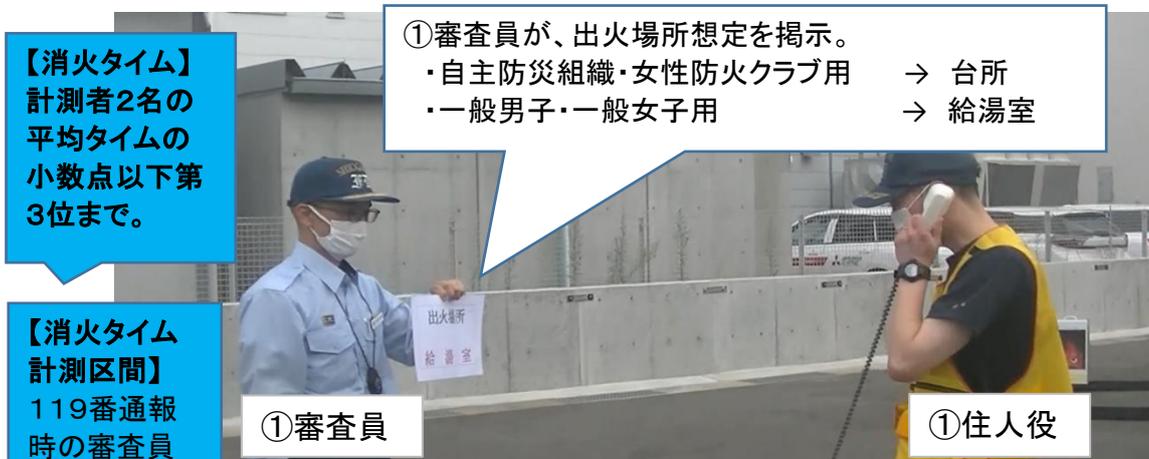
加算タイム 5秒

①住人役は、住宅用火災警報器の鳴動合図により、任意の位置で「火事だ！火事だ」と2回連呼し周囲に知らせる。

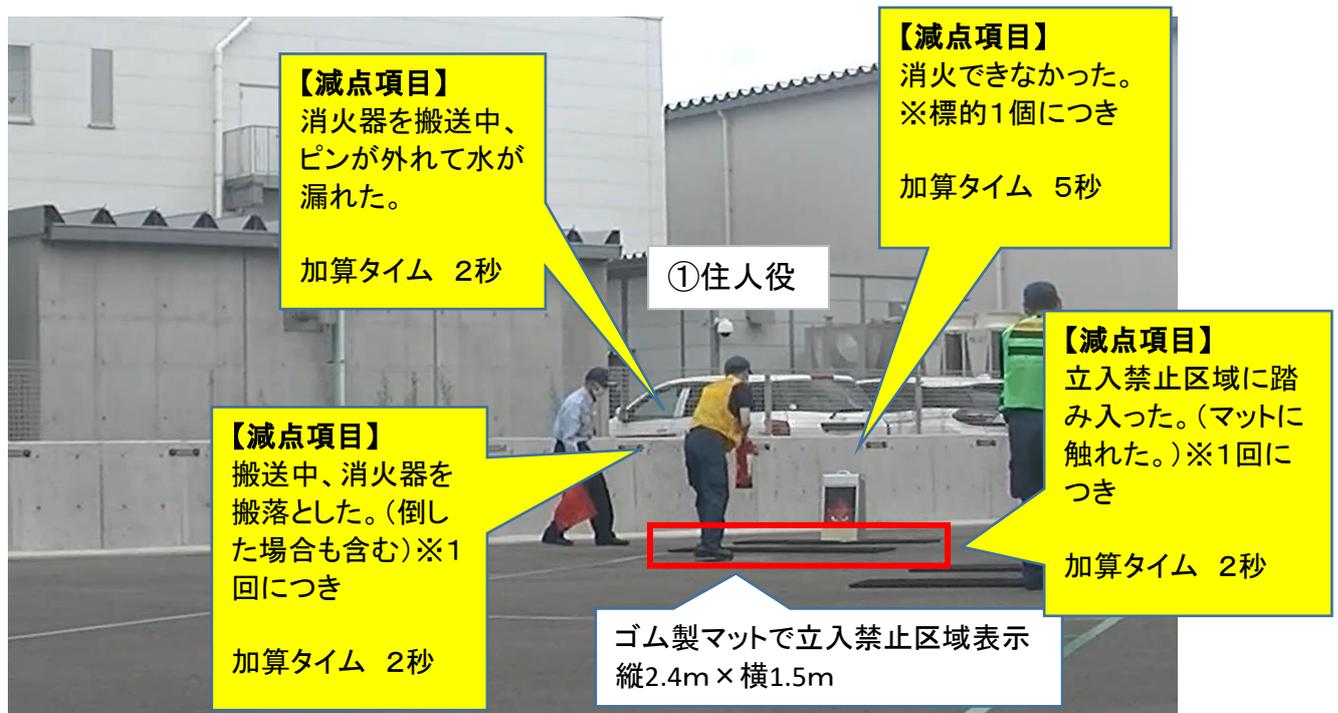




イ 出火場所の想定(台所・給湯室)は、審査員が掲示する。



ウ 標的に放射する際は、立入禁止区域に踏み入って（マットに触れて）はならない。



エ 使用した水消火器は、その場におくこと（倒さない）。

**【減点項目】**

搬送中、消火器を落とした。(倒した場合も含む)※1回につき

(2) ②通行人は、住宅用火災警報器の鳴動合図、①住人の「火事だ！火事だ！」及び①審査員の「よし」の合図により、所定の位置にある水消火器を持ち、避難呼びかけ位置で「火事だ！火事だ！」と周囲に呼び掛けてから水消火器を操作し、②審査員の「よし」の合図があるまで標的に放射する。その後、スタート位置に避難（ゴール）し待機する。

前（1）ウ、エに同じ

**【標的への消火について】**

標的(2個)は、競技者(①住人役 ②通行人役)それぞれ又は協力して消火する。





避難呼びかけ位置で「火事だ！火事だ！」と2回連呼し周囲に

①住人役

避難呼びかけ位置  
1m×1m

②通行人役

**【減点項目】**  
コースをはみ出した(ラインを踏んだ)。  
加算タイム 2秒



①住人役

②通行人役

**【減点項目】**  
その他審査長が必要と認めたものの。  
加算タイム 2秒

**【消火完了の判断基準】**  
消火的の炎の絵が「完全に見えない状態」とする。



「消火完了」



「消火完了ではない」  
(炎の絵が見えている)